No. 2015 2026年（令和8年）7月16日号
物流Weekly ウィークリー

外国人材

外国人材研修を展開

静岡県トラック協会 日本語力・運転技能に特化

静岡県トラック協会（佐野寛会長、タカキュー）では、人材不足と特定技能制度の対象分野拡大にともなって関心の高まる外国人雇用をテーマとした研修会を随時開催。

語学や安全教育に力を入れる「特化型」の登録支援機関も台頭してきており、活用の幅が広がりを見せている。

日本語学校基盤に

アイメイドアルファ

6月25日に開催された同ト協引越部会（鈴木典男部会長、静岡運送）の全体会議の場で、日本語学校運営を基盤とした特定技能人材紹介事業を手がけるアイメイドアルファ（東京都新宿区）の荻野健代表を講師に招いた研修会を実施。同研修では特定技能での一般的なプログラムと同社独自の日本国内留学を交えたプログラムを比較してそれぞれのリスクとメリットを伝え、留学中にステップを踏むことができる外免切り替えや高い日本語能力（N2レベル）の習得といった部分に焦点を当てた。

さらに会場では同社を通してタカキューにドライバーとして入社予定のミャンマーからの留学生2人が登場して、流暢（りゅうちょう）な日本語による自己紹介や質疑応答などを披露した。

加えて、同社にドライブレコーダー教育などを提供しているエヌ・ピー・ロジ（愛知県刈谷市）の出口皓士代表も登壇。日本の道路交通事情を深く学んでもらうための安全教育に触れ、外国語にも対応する自社のeラーニングツールである「eDriver」を紹介した。

ミャンマー人ドライバーと荻野代表（中央）